

トヨタ自動車九州 安全衛生 協力会だより

●発行/トヨタ自動車九州 安全衛生協力会 ●HPアドレス <https://www.toyotakyushu-kyouryokukai.jp/> ●発行者/柳 智章 ●発行/2026年5月 ●発行所/ダイワ印刷(株)

2026年度 定期総会開催



2026年度定期総会が4月10日(金) グランドハイアット福岡にて開催されました。今回は会員120社/200名が参加のもとご来賓として直方労働基準監督署 署長 加治屋様 トヨタ自動車九州(株) 領域長 藤原様 堀之内様のご臨席を賜り盛大に開催されました。柳会長より「当協力会の基本理念の下今年度こそ『災害・事故ゼロ』の達成に向け活動をより実効性の高いものにしていく」と強い決意の言葉がありました。

2026年度定期総会議決結果

・総会員数	221社
・承認	120社
・委任	43社
・否認	0社

承認多数により審議議案通り可決

会長挨拶



トヨタ自動車九州安全衛生協力会 会長 柳 智章

世界情勢が予測困難な時代であるからこそ 当協力は30年以上にわたり積み重ねてきたトヨタ自動車九州との信頼関係の下 最善の対応策を導き安定した生産体制を守り続けることが我々の使命であり大前提が「安全」である

責任者の皆様は災害を未然予防する為にルールを守る目的と重要性について作業に携わられている方々の意識と行動を変えられるよう指導をお願いします

来賓挨拶



直方労働基準監督署 署長 加治屋 様

死亡災害ゼロはゴールではなく必ず守り続けなければならない最低ラインであり次の課題は死傷災害の更なる減少 特に製造業における災害防止です

直方労働基準監督署としても全ての働く人が安全・安心して働き続けられる職場環境の実現に向け皆様と連携しながら全力で取り組んでまいります



トヨタ自動車九州(株) 領域長 堀之内 様

「安全はすべてに優先し、安全活動に終わりはしない」を基本とし 決められたルールを守り 作業される方の目線に立ったリスクアセスメントと危険要因の排除を確実にお願いします

チーム九州として「無事故・無災害」を目指し TMK と協力会が一体となり 安全・安心に作業できる環境・風土づくりを行っていきましょう

特別講演

「超実践的安全講話で事故ゼロ職場」

中央災害防止協会 大阪安全衛生教育センター 非常勤講師
鳥枝 健治

人が安全・安心に働くには人を育てる事が1番

「決して労働者が労働中に命を落としてはならない」
そのために事故災害を発生させるキーワードに注意する
1) 1%の矛盾 2) 1秒の油断 3) 1度の妥協
いつもと違うと感じた時に作業を止める勇気が必要である



意見交換会

総会の最後に トヨタ自動車九州(株)長木社長をはじめ関係役員の皆様にご出席いただき 意見交換会が盛大に開催されました



三島副会長



岩原副社長



小泉副会長



長木社長



岩瀬理事



新任役員紹介



清水建設(株)
北九州営業所長

霧 秀雄

『災害・事故ゼロ』の達成に向け
会員の皆様と力を合わせ より一層
安全活動に邁進する所存です
至らぬ点もあるかと存じますが 何
卒よろしくお願ひ申し上げます

退任役員挨拶



清水建設(株)
前)北九州営業所長

山田 康明

安全の基本を皆様と共有しながら
活動を推進することができ感謝申
上げます
安全に終わりはないので今後の皆
様の益々のご発展と無事故・無災
害を目指す活動の継続を祈念して
おります

2026年度 活動計画

安全衛生協力会 活動方針

『安全は全てに優先し安全活動に終わりはない』の基本理念のもと トヨタ自動車九州（株）構内作業における客先との現地・現物の事前確認を行い リスクアセスメント等の労働災害未然防止活動を実践することにより災害・事故ゼロを目指す

【目標】 ◎災害・事故ゼロ ◎火災ゼロ ◎環境事故・ヒヤリゼロ

重点実施事項

1. 基本ルールの順守

- ①重点災害6項目（STOP6）+酸欠に関する危険要因把握と対策実施
（重点災害6項目=重量物、車両、感電、挟まれ・巻き込まれ、墜落・転落、火災爆発）
- ②安全施工サイクルの確実な実施
（作業者全員とのコミュニケーションにより安全作業確認と情報共有）
- ③工真・作真は工事全体の安全確保のため、その責務を遂行する
また作業者は危険を感じる感性を持ち続け、危険を感じたら直ちに作業を止める
- ④コンプライアンス遵守の徹底
法令の遵守ならびに TMK 構内作業ルール違反の撲滅

2. 協力会活動の充実

- 1) 理事会、運営委員会、分科会活動の計画的実施
- 2) 重点実施事項推進のための分科会活動の推進
・教育の充実と徹底
・パトロールでの指導による再発防止
・啓蒙活動として事例を広報誌にて展開
- 3) ルール違反の多い案件（電動工具類等の不備）防止
・元請会社による災害未然防止の推進
- 4) 3分科会活動の連携とタイムリーな情報展開
- 5) TMK（安全衛生推進室・作業管理部署）との連携強化

指導分科会

【活動計画】

- ①月例安全パトロール企画運営 1回/月
- ②合同安全パトロール企画運営 4回/年
- ③指導分科会会議企画運営 3回/年
- ④指導/教育合同研修会 1回/年
- ⑤安全パトロール結果各社展開 1回/月
- ⑥作業責任者教育での講話実施 20回/年
- ⑦社外災害情報展開企画
- ⑧入場前持込み工具の点検実施 1回/年
- ⑨その他安全に対する情報発信

【活動内容】

1. 安全パトロールの実施

- ①定例安全パトロール実施…1回/月（刈田・小倉含む）
- ②TMK/理事/運営委員/3分科会合同パトロールの実施…4回/年

2. 教育/広報分科会との連携を密にした活動の実践

- ①指導及び教育分科会委員による合同研修会を行い情報・課題の共有、安全に対する活動のレベルアップを行い、現場での効果的な指導・アドバイスに繋げる
- ②安全パトロール結果を各分科会に展開し、事故や災害の未然防止に役立てる作業責任者及び作業責任者更新教育でのパトロール結果の展開及び協力会ニュースへの指摘・優良現場事例として掲載

教育分科会

【活動計画】

- 1. 教育講習会
 - ①感電防止教育 12回/年
 - ②高所作業教育 12回/年
 - ③作業責任者（職長含む）教育 11回/年
 - ④作業責任者更新教育 9回/年
 - ⑤工事責任者教育 2回/年
 - ⑥専門講師養成講座 都度
（感電・高所）（作業責任者）（作業責任者更新）（工事責任者）
- 2. 講師研修会
 - ①感電防止・高所作業 講師会 1回/年
 - ②作業責任者・工事責任者 講師会 1回/年
- 3. 指導/広報分科会との連携
 - ①合同パトロールへの参画 4回/年
 - ②入場前持込み工具の点検への参画 1回/年
 - ③指導/教育合同研修会の実施 1回/年

【活動内容】

1. 教育講習

- ①指摘の多いルール違反に対しては、講習内に重点的に教育に取り組む
- ②安全施工サイクルの理解度強化に向けた強調教育は引き続き継続
- ③優良・指摘現場を年度ごとに掲示し講習時に事例として紹介する
- ④現場ですぐに活用出来る様な資料などがあれば教育講習会でも展開
- ⑤各責任者の方々のレベルアップの為に協力会主催講習の傍聴を促す

2. 講師研修会

- ①講師研修会にて、各社の困り事や気になる点をグループディスカッションし自社教育に繋げる
- ②作真・工真講師研修会では、あるべき姿に重点を置いた研修を計画する
- ③講師相互意見交換による自社教育講師陣のレベルアップを図る
- ④講師研修会を通じて正しい知識、高い意識を持つ人材育成に取り組む

3. 指導/広報分科会との連携

- ①安全パトロールに積極的に参加し、現地・現物の状況を講習内容へ反映
- ②指導分科会と情報交換し指摘の多い内容やルール違反を講習会へ展開

広報分科会

【活動計画と内容】

1. 「協力会だより」の発行：2回/年

- 定期総会と安全衛生大会関係を中心に TMK からの伝達事項や労働基準監督署からの連絡等の発信
 - ①第60号/第61号『協力会だより』発行

2. 「協力会ニュース」の掲載：10回/年

- ホームページを活用し安全パトロール計画と結果及び教育関連情報などの発信
 - ①安全衛生協力会ホームページ『協力会ニュース』掲載

3. 定期総会・安全衛生大会の企画運営

- 会員会社の参加率100%を目指した内容の検討（前年比向上）

4. 合同パトロール・入場前点検への参画

- 指導分科会・教育分科会と連携した現場情報の的確な把握&わかりやすいニュースにして発信

5. TMK 安全衛生推進室と連携した構内安全関連情報発信のしくみ作り

- ニュース・HPを活用した TMK からの安全に関する期待値発信
 - ①TMK 安全衛生推進室と情報共有し会員各社へ展開

春期連休工事合同安全パトロール報告

4月29日(水) TMK岩原副社長、藤原顧問、堀之内顧問をはじめ安全健康推進部・調達部の皆さまに参加頂き
総勢61名にて工事の安全点検と作業者への激励を兼ねてパトロールを実施致しました



柳会長挨拶



岩原副社長挨拶



藤原顧問挨拶



全体ミーティング風景

1. 安全パトロール件数

■ 総点検現場数：48現場
(宮田工場 26現場、荻田工場15現場、小倉工場7現場)

2. 安全パトロール結果

【優良現場 (3件)】

- ① 資材置き場の表示良好 (㈱カナエ)
- ② 資材置き場表示・墜落防止器具ハーネス置き場良好 (㈱ダイフク→(有)川口設備)
- ③ 資材置き場表示良好 (㈱ダイフク→(有)フジセイキ)

【指摘現場 (6件)】

- ① 電動工具不備 (アンカドリル2P 点検シール有)
- ② コードリールの先端に社名表示なし/被覆不備
- ③ チェーンブロックのフック外止め破損
- ④ ナイロンスリングの不備 点検未実施
- ⑤ 2P延長コードの持ち込み (写真なし)
- ⑥ 脚立のすべり止め不備



現場点検風景



現場点検風景



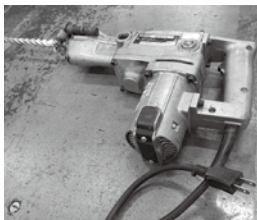
優良現場①



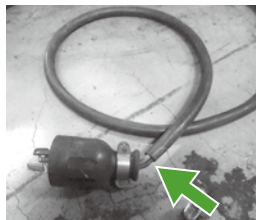
優良現場②



優良現場③



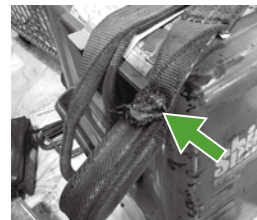
指摘現場①



指摘現場②



指摘現場③



指摘現場④



指摘現場⑤

トヨタ自動車九州株からのお知らせ

仕入先工事 災害・事故ゼロに向けた巡回について

弊社では 平日も含め 構内で多くの工事が行われています
構内で作業されるすべての皆様に 安心して作業していただくことを目的に安全健康推進部
メンバーが日常巡回の中で 工事現場の様子を確認しています

【巡回で見ているポイント】

- ・仕入先関係安全衛生 点検チェックリストに基づく確認
- ・作業時の安全な状態の確認
 - 特に注意が必要な場合は 改善のお願いをお伝えします
 - 日常的な内容については 現場で声かけやアドバイスを行います
- ・安全・衛生・健康に配慮した良い取組 (優良ポイント)

巡回の中で気づいた良い取組や注意点は 協力会ニュース等で共有していきます

